

## 第6回 白須賀地区学校再編検討委員会 議事録

日 時	令和8年2月25日(水) 15:00~16:50
場 所	湖西市役所
参加者	25名 委員 9名（学識経験者1名、保護者代表3名、地域代表3名、校長2名） 事務局 5名（教育次長、教育次長、学校教育課長、学校教育課職員2名） 傍聴者 11名

### 会議内容

議長より本日の議事内容の説明があり、事務局から「湖西市立学校再編検討委員会（白須賀地区）（案）」についての説明、事務局への質問や委員同士の意見交換を行った。

#### 1 「湖西市立学校再編検討委員会（白須賀地区）（案）」について

- ・これまでの検討委員会での検討の内容を、「湖西市立学校再編検討委員会（白須賀地区）（案）」として取りまとめた。この報告書を踏まえて、今後市として、白須賀中学校のあり方について方針について検討し、決定していくことになると考えている。
- ・報告書の最後、アンケート結果が出た後の検討委員会の議論の内容については、現状、事務局でとりまとめた記載例としており、今回の検討委員会では、主にこの部分の記載内容についてご意見をいただければと考えている。

**<質問①>市長が小中学校を存続するという回答をするために資料を作ったのではないかと考えたが、どの時点で回答するか決まっているのか。**

<回答①>市長への書類提出の時期は決まっていない。前回の検討委員会で、「このまま結論を出さないのはいけない」という意見もあったので、まずは報告書という形でまとめ、これを受け、市で考えていく予定。また、令和8年度の前半までには市としての考えをまとめる必要があると考えている。

**<質問②>アンケートの回答が多く、もう少し精査させてほしいということで、令和8年1月20日に予定していた再編検討委員会を延期したと認識していたが、精査した結果もなくまとめに入っているという状況がよくわからない。精査した結果を少し教えてほしい。**

<回答②>まず、市として「存続」とするか「統合」とするかはまだ決めきれていない。どちらになったとしても、それに対する懸念事項があるかと思うので、市として判断する際には、懸念事項に対し、どういった対策が取れるのかを示した上

で、最終的な判断、結論を出すようになるかと思う。

**<質問③>方向性が定まってないのに、この資料をまとめる意味が分からない。**

<回答③>委員の皆様にごいただいた意見をまとめ、これを持って市として判断をしていくことを考えている。これまでにいただいた意見を事務局でまとめたものを確認していただき、付け足すようなことがあれば、本日、意見をいただきたい。

**<質問④>アンケート結果で、未就学児のいる世帯では【B案(統合)】方が多いという結果が出ているが、この点について精査しているのか。例えば、姉や兄がいるかどうかで、回答は違っているのかについて分析はしているのか。**

<回答④>今確認した暫定値だが、未就学児がいる43名のうち兄弟がいない世帯は20名で、【A案(存続)】が25%(5名)、【B案(統合)】が55%(11名)、その他が20%(4名)。未就学児と兄もしくは姉がいる世帯は23名で、【A案(存続)】が57%(13名)、【B案(統合)】が39%(9名)、その他が4%(1名)。

【委員より】

白須賀の学校のいい所が兄弟から伝わっていて、アンケートに反映された結果かもしれないと思った。

**<質問⑤>総合教育会議の結果も、未就学児のいる世帯が多いから、「存続」に踏み切るには少し不安な所があると言っていて、そこをもっと精査するべきではないか。教育委員からそのような意見は出てないのか。**

<回答⑤>総合教育会議でそのような意見はでていなかったと思う。

【委員より】

前回の検討委員会において「1月の総合教育会議で教育委員の意見を聴いた上で判断をする」と説明があり、その総合教育会議を傍聴した。教育委員からは「まだまだ慎重な検討が必要である」という意見が多く出されたが、「小規模特認校の導入」以外の具体的な案は示されなかった。

【委員より】

アンケート結果のデータを分析して、課題を洗い出し、そこから対策をしていくべきなのに、この報告書にはそこがない。これでは次に繋がらないのではないかな。

【委員長より】

この報告書のように、今の結果はこのようだという形のまとめ方もあるが、どのような形をもってこの検討委員会のまとめとしたいか、ご意見いただきたい。

【委員より】

【A 案（存続）】か【B 案（統合）】を選択する項目や自由記述など、各項目を分析してどのようなことがわかったかを整理しないと報告書にならないと思う。

【委員より】

この再編検討委員会の意見としてまとめていくなれば、【A 案（存続）】【B 案（統合）】どちらかになった場合に、例えば反対側の意見の人が、このような案があるから少しは不満が解消されるような内容を盛り込みたいと思っている。今は、どちらかわからないから、中途半端になっていると感じる。

**<質問⑥> 委員会をやった以上、報告書は必要だと思うが、この前の総合教育会議を受け、市長が先送りも視野に入っているようなことが新聞に書いてあった中、諮問委員会ではないこの検討委員会の方針について言及しているのか。**

**<回答⑥> ここで決めていただくのではなく、委員の意見を参考にさせていただくということ**を以前から申し上げている。

【委員より】

これが今の子どもたちや地域の方々が考えている小中学校の今後のあり方について反映されている報告書だと私は思っている。

【委員より】

個人的な感想ですが、アンケート結果の「今後の教育環境に求めるもの」を見た時に、今求められていることに対して、学校としてはかなり応えられているのかなと思った。

【委員より】

あくまで個人的な感想ですが、アンケートの「今後の教育環境に求めるもの」の結果は、励まされる結果ではあるので、今後も引き続き学校教育の改善に努めていきたいと思っている。

【委員長より】

各委員の意見をいただき、非常にいいアンケートを実施できたと思う。この結果を踏まえ、当委員会として望ましい方針を記載することも可能かと思う。

【委員より】

アンケート結果やこの会の意見等を、例えば、1 回数値化してはどうか。必ずしも決定するのではなく、結果を見える化した方が良かったと思った。

【委員より】

【A 案（存続）】とするならば、人口を増やす方策とセットで提案することが大前提となるが、【B 案（統合）】とするならば、足りないものを補うような感じの方法というのは考えられなかったのかと考えていた。体育大会を一緒にやったり、文化祭を一緒にやったりというのがあれば、競争心も生まれると思う。

【委員より】

私達がこの再編検討委員会に出席している意義は、どれだけ保護者に寄り添っ

た回答ができるかではないかと思っている。経緯を全くわかってない保護者にも、将来に向けての明るい展望がみえるように踏み込みたい。また、湖西市には製造工場が立地しているので、外国の子や帰国子女や外国の方にも英語教育で学べる環境を整える拠点を湖西市に立地させる等、他市町村でやっている所を少し湖西市流にアレンジし、最新なことやるような事が語れないかと思う。

【委員より】

アンケートの回答に基づき「存続」の方向にするとした場合は、クラス替えのできる教育環境でということを進めてきた「統合」の方針とは異なる。大規模校に行けるとい希望を持った保護者も半数近くいるので、その方針を覆すだけの説明理由が必要である。また、どちらの結果になっても、半数の方は不安要素が残るので、その不安を解消する具体的な方策を出し、安心していただけるように説明会を何度かやるなど、丁寧に行ってもらいたい。

【委員より】

結論を先送りする選択肢があり、それも存続に含まれるかもしれないという話があったが、結論を出さないとなかなか前に進まないと思う。市政報告会の時にも、アンケート自由記述から、明らかに地域分断や保護者の中でも分断が起きているのではないかと感じられるという発言をさせていただいた。明確な方向性を出さないと、お互い更に溝が深まり、やがて地域が疲弊してしまう恐れがある。また、方針も出して終わりではなく、そこからが更なるより良い教育環境の充実に向けたスタートとなるので、次の対策、方向性を見ていきたい。

【委員より】

行政の方々も頑張っていて、先生方も子どもたちのために頑張っている、そういうのを可視化させた方がいいのではと思う。上から言われたからやるような印象が強く残っていると気の毒でしょうがない。そこを踏まえて、報告書に記載していただければと思う。

【委員より】

学校運営する観点では、存続が多いというアンケート結果は、学校が楽しく、非常に充実していると読み取れるが、一方で学年ごとにクラスが変わって新しい友達ができるから統合の方がいいという子がいる所は見逃してはいけないと思っている。人数が少ないと人間関係が固定化してしまうのは事実である。そういった所で、どのようにうまく子どもたちを育てる環境を作ってあげたいのか、きちんと考えながら手を打ち、子どもを育てていきたい。

【委員より】

最終的に判断を下す際はこういった形で伝えるのが重要で、以前の再編方針に反する結果となるので、公表時には丁寧な説明をするのがよいと思う。

【委員より】

今までは中学校を残して地域を盛り上げていければと主張していたが、今は少しわからなくなっている所もある。そのきっかけが、子どもの通う中学校の部活が現在湖西中学校と合同で活動しており、少人数ではできない練習もできるようになり、楽しそうに活動している。どちらが正しいかという話となると、決められない。

**【委員より】**

地域の方が声をかけてくれ、声をかけると迅速に動いてくれて、子どもたちもそれを楽しみにしている。地域の方たちも子どものためになら頑張るといふ雰囲気も伝わってきたので、このように思える子どもたちを育てていきたいと感じた。人数が少ないことをどう打開するかについて考えながら、子どもたちのためにやっていけたらと思っている。

**【委員より】**

外の子たちと一緒にいた方が、刺激があるという意見もあったが、保護者としての感覚としては、今は塾やクラブ等、中学校にあがると行動範囲も広がるため、学校以外でもその部分は補えるかと思っている。

**【委員より】**

人との繋がりや様々な人と出会う機会創出という面では、遠隔授業等も使えるのではないかと。愛知県刈谷市では遠隔事業等が活性化している。例えば、社会の授業で湖西市の歴史を刈谷市に教える等によって、湖西市に住んでいる人の考え方と違った考え方も体験できると思う。

**【事務局より】**

報告書のまとめ方は、検討委員会として存続か統合かというものを記載するのではなく、検討委員会でいただいた意見を記載していきたいと考えている。また、「特色のある学校という意見」、「結果を公表、周知する方法」、「地域住民への丁寧な説明」、「結論を導く際の理由づけ」、「再編方針を覆す場合にはその明確な理由」などについては、附帯事項として市への要望という形で記載したいと考えている。更に、この内容を事務局で整理し、後日、委員の皆様にご確認をいただきたい。

**【委員長より】**

意見をまとめるのは結構難しいと思うが、まずは教育委員会で責任をもって取りまとめ、その結果を各委員に見ていただき、それを踏まえてまたご意見をいただければと思う。

以上